

製品名: Frizzled-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11142**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	76kDa

抗原情報

遺伝子名	FZD3
別名	FZD3; Frizzled-3; Fz-3; hFz3
遺伝子 ID	7976.0
SwissProt ID	Q9NPG1
免疫原	抗血清はヒト FZD3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

背景

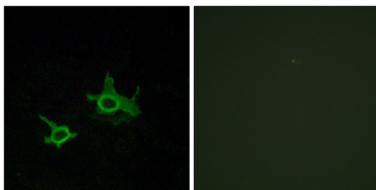
frizzled クラス受容体 3 (FZD3) Homo sapiens この遺伝子は frizzled 遺伝子ファミリーのメンバーです。このファミリーのメンバーは、wingless 型 MMTV 統合部位ファミリーのシグナル伝達タンパク質の受容体である 7つの膜貫通ドメインタンパク質をコード

しています。ほとんどの frizzled 受容体は、 β -カテニンの標準的なシグナル伝達経路に結合しています。このタンパク質の機能は不明ですが、哺乳類の毛包の発達に役割を果たしている可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。この遺伝子は統合失調症の感受性遺伝子座です。[RefSeq 提供、2010年12月], domain:Lys-Thr-X-X-X-Trp モチーフは、Wnt/ β -カテニンシグナル伝達経路の活性化に関与しています。、domain:FZ ドメインは Wnt リガンドとの結合に関与しています。、function:Wnt タンパク質の受容体。 frizzled 受容体のほとんどは、 β -カテニンを介した標準的なシグナル伝達経路に結合しており、この経路は disheveled タンパク質の活性化、GSK-3 キナーゼの阻害、 β -カテニンの核内蓄積、そして Wnt 標的遺伝子の活性化につながります。PKC とカルシウムフラックスを介した2つ目のシグナル伝達経路が、ファミリーメンバーの一部で確認されていますが、PKC は Wnt を介した GSK-3 キナーゼの不活性化に必須であると考えられるため、これが独立した経路なのか、それとも標準的な経路に統合できるのかはまだ明らかではありません。どちらの経路も G タンパク質との相互作用を伴うようです。組織形態形成過程および / または分化組織において、極性情報の伝達および細胞間伝達に関与している可能性がある。、類似性: G タンパク質共役受容体 Fz/Smo ファミリーに属する。、類似性: 1つの FZ (frizzled) ドメインを含む。、サブユニット: VANGL2 と相互作用する。、組織特異性: 広く発現している。中枢神経系 (大脳辺縁系を含む)、特に腎臓、脾臓、骨格筋、子宮、精巣で比較的高い発現を示す。、

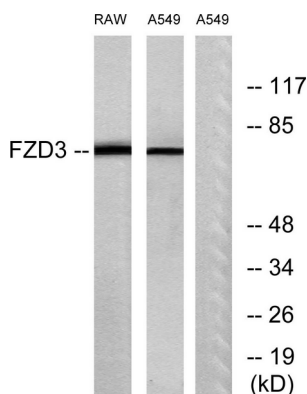
研究分野

WNT、WNT-T 細胞、メラニン生成、がんの経路、大腸がん、基底細胞がん

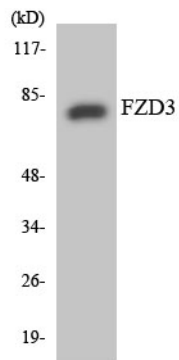
画像データ



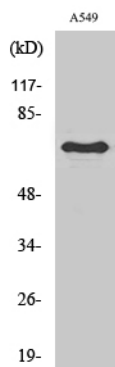
FZD3 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



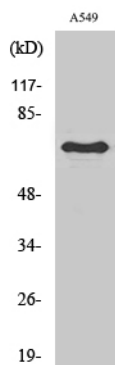
FZD3 抗体を用いた A549 細胞および RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



FZD3 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Frizzled-3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



Frizzled-3 ポリクローナル抗体を用いた RAW264.7 細胞のウェスタンブロット解析